

法科大学院在學生・ 修了生の皆様



7/3 土
開催

法科大学院協会、文部科学省、及び法務省共催

企業法務シンポジウム

～変化する企業法務－法科大学院に期待される役割～

法科大学院は、新たな法曹養成制度の中核を担う教育機関として、また、大学改革の試金石としての役割を期待され、制度創設6年が経過し、法科大学院教育、司法試験、司法修習を有機的に連携させた「プロセス」としての法曹養成の取組が本格的にスタートしました。

法科大学院修了生は、社会の法的ニーズに積極的に対応し、公的機関、国際機関、民間機関等の多様な分野において活躍することが期待されています。しかし、現在、修了生の職域としては、裁判官、検察官、弁護士事務所勤務の弁護士という法曹3者が大多数を占めており、今後は、経済界も含め多様な職域において活用されることが強く求められています。

特に、わが国の将来の法曹となる法科大学院在學生と修了生の皆様が経済界等の求める法的ニーズを正しく理解することは極めて重要です。

本シンポジウムは、企業代表者を招き法科大学院在學生と修了生の皆様に対して企業法務の理解を深め、法科大学院教育の向上に資することを目的とするものです。

日時 : 2010年7月3日(土) 13:00～17:00

会場 : 法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎6階 薩埵ホール
(東京都千代田区富士見 2-17-1 最寄駅: JR・地下鉄各線 飯田橋駅 または 市ヶ谷駅)

対象者 : 法科大学院修了生 及び 在學生 その他、企業関係者、法科大学院関係者等

参加費 : 無料

講師 : 三菱商事株式会社 法務部 機械チームリーダー 中尾智三郎氏

三井物産株式会社 法務部 法務第二室長 桑田和弥氏

プログラム : 13:00 開会挨拶: 文部科学省及び法務省

13:15～14:15 三菱商事株式会社 中尾智三郎氏

14:30～15:30 三井物産株式会社 桑田和弥氏

15:45～17:00 企業法務部スピーカーと職域問題等検討委員会とのディスカッション
(修了生の企業での活用の課題及び問題点等について)、全体質疑応答

17:00 閉会挨拶: 法科大学院協会

共催: 法科大学院協会 文部科学省 法務省